

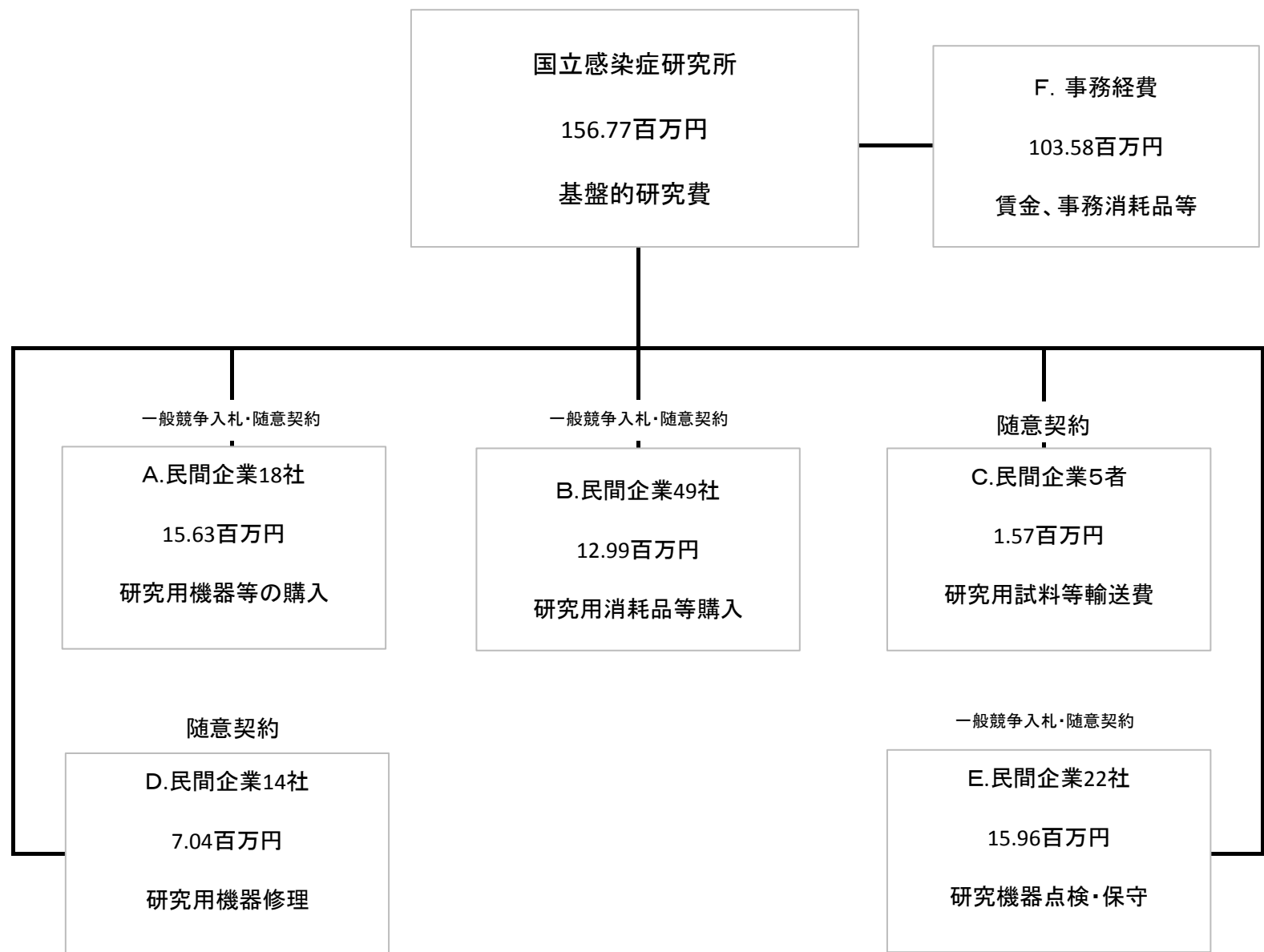
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	基盤的研究費	担当部局庁	国立感染症研究所	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度	担当課室	総務部会計課	金山 和弘			
会計区分	一般会計	政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	感染症に対する様々な研究業務(病原体の検出、疾病原因の解明、診断法の確立やワクチン・医薬品の開発等)、感染症に関するサーベイランスやレファレンス業務、ワクチン検定業務や放射能・バイオ実験室の安全管理や講習の実施等競争的原理にはなじまない、感染症研究と医療科学技術の発展を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	当事業では、病原体等を取り扱う上での安全管理の研究、実験動物の微生物モニタリング、生物学的製剤、抗生物質等の安全管理に関する研究、感染症に関する検査システムを確保するために必要な研究、感染症に関わる基礎研究等多岐に亘る研究を行い、技術的な根拠のある感染症対策を可能としている。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	170	170	157	141	169
		補正予算					
		繰越し等					
		計	170	170	157	141	169
		執行額	170	170	157		
	執行率(%)	100%	100%	100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	感染症に対する種々の基礎的な研究にかかる経費であり、感染症の予防、治療、流行の阻止等感染症対策に資するが、成果との直接的な因果関係が示せないため、定量的な成果指標を示せない。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	研究課題数	活動実績(当初見込み)	課題数	11 (11)	11 (11)	11 (11)	— (11)
単位当たりコスト	15,375 (千円/課題1件)	算出根拠	169,127千円/11件=執行額(千円)/課題数(件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	備品費	5	7	非常勤職員の人数見直しに伴う増			
	消耗品費	62	68				
	印刷製本費	5	5				
	通信運搬費	5	5				
	賃金	39	56				
	雑役務費	25	28				
	計	141	169				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	保健医療の向上や感染症に関する研究を行うことが国立感染症研究所の責務であり、国費の投入が必要。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症法に基づく国の責務を踏まえ実施している事業であるため。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	会計法に基づき適切に契約を行い、競争性を確保している。引き続き、一般競争入札における参加者数の確保に努		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行に必要な使途に限定し執行している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本研究事業においては、国立感染症研究所の業務を遂行するに必須である科学的基盤を維持するために必須な研究を行っている。研究事業は多方面にわたり効率的に行われ、業務の基盤となる多大な成果が得られている。また役務を外注するときのみならず、備品、消耗品の購入時においても会計法に基づき一般競争入札及び随意契約にて支出先の選定、金額の決定等を行っているが、引き続き効率的な予算執行に努めたい。					
外部有識者の所見						
外部有識者点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業は、感染症対策に係る試験研究に必要な経費であるが、本事業の必要性及び執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	621	平成23年	562	平成24年	499

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足
する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)チヨダサイエンス			E.(株)豊島製作所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	検査機器の購入	6	雑役務費	機器点検・保守	3
計		6	計		3
B.(株)チヨダサイエンス			F.非常勤職員A		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	検査消耗品の購入	3	賃金	研究補助員賃金	4
計		3	計		4
C.ヤマト運輸(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	宅急便	1			
計		1	計		0
D.(株)豊島製作所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	機器修理	4			
計		4	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)チヨダサイエンス	備品購入	5.81	2	99.7
2	(株)豊島製作所	備品購入	3.51	2	99.7
3	(株)ヤマダ電機	備品購入	1.25	随意契約	—
4	(株)池田理化	備品購入	1.01	随意契約	—
5	鍋林フジサイエンス(株)	備品購入	0.82	随意契約	—
6	(株)竹宝商会	備品購入	0.48	随意契約	—
7	(株)ニード	備品購入	0.48	随意契約	—
8	(株)日興商会	備品購入	0.46	随意契約	—
9	(株)三啓	備品購入	0.4	随意契約	—
10	フタバ事務器(株)	備品購入	0.38	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)チヨダサイエンス	研究用消耗品購入	2.99	随意契約	—
2	本道産業(株)	研究用消耗品購入	2.65	2	72.95
3	(株)豊島製作所	研究用消耗品購入	1.12	随意契約	—
4	岩井化学薬品(株)	研究用消耗品購入	1.02	随意契約	—
5	理科研(株)	研究用消耗品購入	0.85	随意契約	—
6	(株)三啓	研究用消耗品購入	0.79	随意契約	—
7	(株)八木理化	研究用消耗品購入	0.63	随意契約	—
8	(株)アベバイオロジカルリサーチ	研究用消耗品購入	0.6	随意契約	—
9	日本エスエルシー(株)	研究用消耗品購入	0.5	随意契約	—
10	(株)フナバシファーム	研究用消耗品購入	0.4	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ヤマト運輸(株)	宅急便	0.67	随意契約	—
2	フェデラル エクスプレス コーポレーション	宅急便	0.46	随意契約	—
3	日本通運(株)	宅急便	0.25	随意契約	—
4	郵便事業(株)	宅急便	0.14	随意契約	—
5	(株)近鉄ロジスティクス・システムズ	宅急便	0.03	随意契約	—
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)豊島製作所	機器修理	4.34	随意契約	—
2	(株)日立ハイテクフィールドディング	機器修理	0.87	随意契約	—
3	(株)バイオテック・ラボ	機器修理	0.45	随意契約	—
4	(株)チヨダサイエンス	機器修理	0.33	随意契約	—
5	(株)池田理化	機器修理	0.18	随意契約	—
6	(株)ニード	機器修理	0.18	随意契約	—
7	(株)ロクス	機器修理	0.17	随意契約	—
8	(株)エキシジェン	機器修理	0.13	随意契約	—
9	キャノンマーケティングジャパン(株)	機器修理	0.1	随意契約	—
10	日立アロカメディカル(株)	機器修理	0.1	随意契約	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)豊島製作所	機器点検・保守	3.02	随意契約	—
2	(株)アルバーネット	機器点検・保守	2.52	3	90.2
3	産業科学(株)	機器点検・保守	2.22	随意契約	—
4	岩井化学薬品(株)	機器点検・保守	1.59	2	99.77
5	(株)日立ハイテクフィールドディング	機器点検・保守	1.18	1	100
6	公益社団法人 日本アイソトープ協会	機器点検・保守	0.99	随意契約	—
7	本道産業(株)	機器点検・保守	0.65	随意契約	—
8	日本電子(株)	機器点検・保守	0.63	随意契約	—
9	(株)藤田電機	機器点検・保守	0.5	随意契約	—
10	高信化学(株)	機器点検・保守	0.49	随意契約	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員A	研究補助	4	—	—
2	非常勤職員B	研究補助	3.22	—	—
3	非常勤職員C	研究補助	2.77	—	—
4	非常勤職員D	研究補助	2.45	—	—
5	非常勤職員E	研究補助	2.21	—	—
6	非常勤職員F	研究補助	2.08	—	—
7	非常勤職員G	研究補助	1.61	—	—
8	非常勤職員H	研究補助	1.39	—	—
9	非常勤職員I	研究補助	1.32	—	—
10	非常勤職員J	研究補助	1.22	—	—